

＜人口ビジョン案＞ 審議会委員提出意見

P	項目		意見・修正案等	委員
5	2 人口減少問題に取り組む意義	(2)関係人口との関わり	「(2)関係人口との関わり」について、「2 人口減少問題に取り組む意義」の2つめの課題に対する方向性を示しているように思われるため、例えば「関係人口の創出・拡大による地域経済社会の維持」とするのはいかがでしょうか。	田中委員
			【修正前】 (2)関係人口との関わり	
6	1 人口の現状分析	(1)①総人口の推移 7行目	1980年と2020年の比較に関して○%、○倍と表記がばらつくため、増減率の比較として、当年人口は184.9%増加しています、ではいかがでしょうか。 また、下表に関して高齢化率が年齢不詳を除いた総人口を分母とするとあるのが2020年だけですので、48.7%の欄に※マークをつけるのはいかがでしょうか。	田中委員
			【修正前】 老年人口は約2.8倍に増加しています。	
10 11	1 人口の現状分析	(2)③母の年齢別出生数の推移	母の年齢別出生数の推移のリード文について、出生数の減少と出産女性の減少(年齢区分別の傾向)が書かれています。p.7の人口ピラミッドで20年おきの階級別人口の推移が示されており、この図から2020年に25～34歳の女性(996人)が20年前(5～14歳)の人数(1,535人)を読み取ったところ539人減少しています。このことから出産控えだけでなく流出要因があることがあるように思われますがいかがでしょうか。14-18ページの社会増減(2023年住民基本台帳人口移動報告)では、20-29歳女性の転入が331件、転出が339件と、ほぼ同数になっています。	田中委員
34	2 将来人口推計 (3)③目指すべき将来の方向	2) 地域間の増減差の低減化	地域間に増減差があることについてエリアごとに施策の方向性が異なるのであれば、現状として示すのはいかがでしょうか。	田中委員